

「介護保険負担限度額認定証」の交付を受けている方へ

平成30年8月1日以降に交付された「介護保険負担限度額認定証」は、**令和元年7月31日**で有効期間が満了になります。

現在「介護保険負担限度額認定証」の交付を受けている方には、更新のお知らせと申請書を送付します。引き続き入所またはショートステイを利用される場合は忘れずに申請をしてください。

更新手続きについて

- 更新手続き受付期間 7月1日(月)～7月31日(水)
- 申請先 国東市高齢者支援課及び各総合支所地域振興課(申請は郵送でも可能です)
- 申請に必要な書類 ①介護保険被保険者証(対象者・配偶者)
②マイナンバーカードもしくは通知カード(対象者・配偶者)
③印鑑(対象者・配偶者・申請者)
④通帳・定期証書・株券など(対象者・配偶者)
⑤運転免許証など写真付きの身分証明書(申請者)
- 留意点 次の場合は負担軽減の対象外となります。
①配偶者が市民税課税の場合(世帯が同じかどうかは問いません)
②預貯金等の金額が1,000万円(配偶者がいる方は2,000万円)を超える場合

【問合先】高齢者支援課 ☎0978-72-5189

第30回豊の国ねんりんピック…美術展

第30回豊の国ねんりんピック美術展が、5月14日(火)から5月19日(日)まで大分市の大分県立美術館で開催されました。絵画や写真などの6部門で行われ、県内の60歳以上の方の作品221点が出品されました。

市内からは7点の作品が出品され、工芸の部の最優秀賞に渡邊尚義さん(安岐町)、審査員特別賞に青井久生さん(国東町)、洋画の部の審査員特別賞に田口知世子さん(国東町)が選ばれました。

なお最優秀賞を受賞された渡邊さんの作品は、第32回全国健康福祉祭和歌山大会美術展へ大分県代表作品として出品されます。

【問合先】高齢者支援課 ☎0978-72-5189

家族支援プログラム 受講生募集

参加無料

認知症のことで困っていませんか? ~介護家族のための支援講座~

高齢化とともに増えてきた認知症。あなたはご家族の認知症の症状に悩んだり、困ったりしていませんか?

この講座では、専門職や介護経験者等から、認知症についてテーマごとに学びます。

認知症の人を介護するうえで、どのように対応すればよいか等、様々な悩みを持つ仲間と話し合い、アドバイスを受けながら介護について学んでいくことができる講座です。ぜひご参加ください。

- ★対象者:認知症の人を介護されている方
- ★募集定員:20名程度
- ★開催場所:アストくにさき
- ★開催時間:午後1時30分～午後3時30分
- ★開講日及びテーマ:8月から来年1月までの全6回(第1火曜日)

- 第1回 8月6日:学ぼう、認知症の介護と対応
- 第2回 9月3日:見つめてみよう、あなたの心(認知症の人への対応や自身がどうなればいいのかを語る)
- 第3回 10月1日:公開講座(認知症について、在宅で認知症の人をどのように支えていくか)
※講師調整中
- 第4回 11月5日:上手に使おう、福祉・介護サービス
- 第5回 12月3日:寄り添ってみよう、相手の心(認知症の人の気持ち)
- 第6回 1月7日:講座のまとめと交流
(認知症の予防、生活障害への対応、地域での支え方など)

参加希望の方は、下記まで申し込みください。



★申込期間:7月16日(火)～7月26日(金)

※定員を超えた場合は、先着順とさせていただきますので、ご了承ください。

【申込・問合先】国東市地域包括支援センター(後藤・日山・清原) ☎0978-72-5184

「第6回 くにさきドリーム展」開催のお知らせ

障がいを持たれている方の活動を広く紹介し、活動が誰かの役に立っていると感じ、明日への夢や希望につながる事を願った、「第6回くにさきドリーム展」を開催します。

このイベントを通して、大分空港利用のお客様はもちろんのこと、地域の方にも『ザ・チャレンジド』の気持ちが伝わればと思っております。

※「ザ・チャレンジド」とは、障がいを持っている人を表すアメリカの言葉です。「チャレンジ」の受動態で、神様から『挑戦』という使命や課題・チャンスや資格を与えられた人という意味です。

- 開催日時 7月14日(日)午前10時～午後3時の間
- 開催場所 大分空港2階出発ロビー シースルーエレベーター横
- 内容 障がい福祉サービスを提供する6事業所(日出支援学校、輝くピアホーム、えがお、秀溪園、三角ベース、ハウエン)に通所されている方の、作業活動での成果物を販売・展示します。
- 主催 国東市・国東市障がい者地域自立支援協議会 就労支援部会



【問合先】福祉課 障がい者支援係 ☎ 0978-72-5164

令和元年度「よい歯のコンクール」が開催されました

国東保健センターで、6月10日に国東市歯科医師会と国東市共催の「親子のよい歯のコンクール(以下親子の部)及び高齢者のよい歯のコンクール(以下高齢者の部)」が開催されました。

親子の部では13組の参加があり、瀬戸口真理さん・晴輝(はる)くん親子(武蔵町糸原)が最優秀賞に選ばれました。4組が参加した高齢者の部では竹永陽子さん(国東町田深)が最優秀賞に選ばれました。最優秀賞に選ばれた瀬戸口さん親子は楽しみながら歯磨きができる工夫をするなど、1本でも虫歯を作らないように歯みがきと定期受診を続けています。竹永さんも1日3~4回の歯みがきの実施と、歯間ブラシの使用を続けています。

歯と口のなかの健康は、日々の生活を元気に過ごすために必要です。みなさんも、歯磨き方法や回数などについて改めて考えてみませんか？



【問合先】医療保健課 ☎0978-73-2450